



5歳児クラス 5月 第2回 「おこだでませんように」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の心情に合わせ声の出し方を工夫する。 主人公の「心の中」の思いを感じとれるように。 「七夕」の伝承神話について、簡単に子どもたちに伝える。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「この子どもどんな顔になってるかな？何があったのかな？読んでみよう」 絵本の表紙の主人公の表情を見ながら問いかけ、お話を始める 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> 子ども達と一緒に発言する。 	

がくしゅうタイム

活動①	ことば	ぼくの気持ちを場面を見て言葉で表現しようとする	
設問	絵本の場面を見ながらぼくの気持ち(心情)を話しあいましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講:「なんだか先生も涙が出てきちゃうよ…」 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「おとこのこはどうして短冊に「おこだでませんように・・・」って書いたんだろう」絵本で場面を出して、みんなで話し合う。 「みんなはおうちの人に怒られたことある?」「そのときどんな気持ちになったかな」など身近な生活の中で感じたことを話し合っても良い。 主人公の「心の中」の揺れ動く思いを感じとる。 		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット)
			保育士の役割
活動②	描く	嬉しい時の顔を描く	
設問	あなたがうれしかったときのことを思い出して、その顔をクレヨンで描きましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保:「うれしいな!うれしいな!」と、嬉しそうに登場。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「先生どうしたの?」 保:「昨日すごく嬉しいことがあってね…」「だからこんな顔になっちゃうの!」 子ども達にも嬉しい時はどんな時か聞き「そんなときどんな顔になるかやってみよう」等で、先生やお友達の顔を見たり、鏡で自分の顔を見る。 講:「先生すごくいい顔してるから、その顔描いてあげる」等で嬉しい顔を描く。 講:「皆も自分の嬉しい顔を描いてみよう」プリント・クレヨンの準備し始める 		P 1 <ul style="list-style-type: none"> ★かがみ ★クレヨン
	【参考】 あくまでも形にこだわらず、自由にのびのびと描くことが大切ですが、もし「どうやって描いたらわからない」と迷っている子どもがいたら下記を参考にして声をかけてみてください。 <ol style="list-style-type: none"> 顔の輪郭を描く 鼻を顔の中央に△で描く 目を黒でアーモンドの形で描く 眉毛を描く 口を赤で描く(笑っているので大きく開けたりにつこりさせたように描く) 耳を描く 髪の毛を黒で描く(上から下に髪を1本1本描くようなイメージで) 		保育士の役割
		<ul style="list-style-type: none"> 皆が出来たら、展覧会や発表会等で、賞賛する。 	

数子ヤレ	<small>ねらい</small>	時計を読む 時計に興味を持ち時計の読み方を知る	教材
<small>設問</small>	針を動かして時間を合わせましょう。		時計
<small>活動内容</small>	時計を使って、〇時30分を確認する（2時30分、11時30分など） ※時計は来週も使用します。		保育士の役割 ・時間の苦手な子のフォローをする